

七飯町海外交流研修報告書発行にあたって

コンコード町と七飯町は、1997年11月15日姉妹都市提携の調印を交わしてから今年で11周年を迎えました。

そして、この海外交流研修は今年度で14回目を迎え、10月13日から23日までの11日間、コンコード町に、総勢14名（中学生5名、高校生3名、引率教員1名、一般町民（企業後継者）3名、役場職員2名で訪問してまいりました。

また、同時にウィットニー・ウォレンさんが国際交流員として2年間の任期を終え帰国しましたが、訪問団がコンコード町滞在中には中高生のサポートをしていただくなど重要な役割を果たしていただき心より感謝申し上げます。



七飯町長 中宮 安一

現地では、ホームステイを体験させていただき、中高校生と引率教諭は毎日元気に学校へ通い、同世代の子供たちと仲良く生活し、米国の文化や習慣を学びながら七飯町の魅力を紹介し、姉妹都市交流の目的を十二分に達成してまいりました。

一般町民代表の参加については、国際交流事業を七飯町の産業振興に役立てたいとの思いから、本年度は企業後継者を対象に参加を募り、若手企業後継者の育成を図るため米国の経営事情や日本との類似点、違いなど直接企業の経営者と意見交換をし、学んでもらうことを主眼に実施いたしました。

そのために、新たな研修プログラムを用意し、準備に汗を流していただいたコンコードのCCNN（コンコード・カーライル・七飯ネットワーク）メンバーの皆様には、大変ご苦労をお掛けしたことに改めてお礼を申し上げます。

12月には、コンコード・カーライル高校のクリスマスコンサートを生中継で鑑賞するという企画を初めて行いましたが、両町の交流がより身近にまた更に深まったのではないかと感じております。また、今度はぜひ七飯町から吹奏楽のコンサートなど生中継でコンコード町の皆様方にお届けできればと考えております。

最後になりますが、本事業の実施にあたりまして様々な形でご協力くださいました各中学校並びに七飯高等学校、地域、家庭の皆様、そして、心温まる受入れをして下さったコンコード町の皆様に改めて厚くお礼申し上げます。